

## 和文抄録

### 大学野球チームにおける学生コーチの役割 - Mintzberg 理論をフレームワークにして -

順天堂大学  
スポーツ健康科学研究科  
学籍番号：4118011  
氏名：菅野 航也

#### 【目的】

近年の大学野球界では、指導者と選手の間位置し活動を行う「学生コーチ」という役職を採用している大学が増加している。そこで、本研究では、Mintzberg のマネジメント研究を援用し、ミドルマネジメントの観点から大学野球チームにおける学生コーチの役割を明確化し、チームマネジメントとの関わりを明らかにしていく。

#### 【方法】

学生コーチ 1 名を対象に 7 日間の行動観察（参与観察法）を行なった。その後、学生コーチ 8 名を対象に 45 分から 60 分程度の半構造化インタビューを実施した。Mintzberg 理論に基づき質問項目が編まれ、得られたナラティブデータは KJ 法を用いて分析を行った。

#### 【結果】

学生コーチは 11 の役割を担っていることが明らかとなった。また Mintzberg 理論と比較検討した結果、7 つの役割と関連があることが示唆された。そして一般的なコーチの役割と同様の役割を担いつつ、学生コーチ特有の「指導者の補助」「橋渡し」といった役割が明らかとなった。

#### 【結論】

Mintzberg 理論を用いて、一般的なコーチと学生コーチ特有の役割を明らかにすることができた。そして、指導者不足が課題に挙げられる大学野球部において、学生コーチはチームマネジメントにおいて重要な人材である。そのため今後の大学野球部において、指導者は学生コーチの役割を理解し、チーム管理を行うとともに、学生コーチの育成・指導が必要である。